

しらかし

新潟市立豊栄図書館・松浜図書館報

No.58 2016年8月

「しらかし」は豊栄図書館正面にあるシンボルツリーの樹種です。



開局中です！ 「としよかん探偵局」

豊栄図書館・松浜図書館

図書館職員が、資料や情報探しのお手伝いをします。
自由研究や、夏休みにおすすめの本など、お気軽にお声がけください。

夏休み応援週間

7月23日(土)から

8月31日(水)まで

展示「自由研究これにちょうせん」

自由研究に役立つ本とイベント案内を
展示しています。

(豊栄図書館 円形展示コーナー)



★夏休み期間以外にも、いつでも図書館員に相談できます！

ブックスタートボランティアを募集します！

新潟市立図書館では、1歳誕生歯科健診時にブックスタートを実施しています。

北区では北地域保健福祉センターと豊栄健康センターを会場に、赤ちゃんとお保護者の絵本をとおしたふれあいを願い、赤ちゃんに絵本を手渡す活動をしています。

ブックスタートボランティアのみなさんには、1組1組の親子に絵本の読み聞かせを行うなど、活動全般にご協力いただいています。



たくさんの笑顔に出会えます！

北区ブックスタートボランティア養成講座

◆ 日時 ① 8月24日(水)

② 8月31日(水)

午前10時10分～11時30分

※2回ともご参加ください。

◆ 募集定員 5名(先着)

※北地域保健福祉センターと、豊栄健康センターで活動できる方に限ります。

◆ 会場 豊栄図書館 集会室

◆ 申し込み・お問い合わせ先

豊栄図書館 電話 387-1123

『郷土南浜 未来への遺産』



『郷土南浜 未来への遺産』（郷土南浜 未来への遺産継承実行委員会／編）は、南浜地区の成り立ちから現在に至るまでの歴史を、貴重な資料と写真でまとめた記録集です。地域の歴史と文化を未来に継承することを目的におよそ3年の歳月をかけて作られ、今年の3月に完成しました。松浜図書館ではこの資料を複数揃え、貸出しています。どうぞご利用ください。



雑誌「nicola」が入りました！

雑誌コーナーに、ティーンズファッション雑誌「nicola」（新潮社）が5月号から仲間入りしました。おしゃれ大好きな小中学生が知りたい、人気コーデやメイク・ヘアアレンジなどの情報が盛りだくさんです。貸出中の時は予約をどうぞ！



松浜図書館の棚から

常設テーマコーナーの紹介

④ 家政コーナー

一般書窓側の書架に、裁縫・手芸・料理などの実用書を集めたコーナーがあります。約1,800冊の資料があり、内容別に見出しをつけてわかりやすく並べています。人気コーナーのひとつです。



豊栄図書館

読書会

子どもの本がおもしろい！



9月の会で取り上げる本

『マイがいた夏』

マッツ・ヴォール／作 菱木 晃子／訳 徳間書店

12歳のハリーと幼なじみの少年ハッセは何をするにも一緒。ところが、美少女マイが転校してきたことで二人の友情に小さなひびが入り…。少年たちの夏が鮮やかに描かれた作品です。

日時 9月13日（火）

午前10時30分～正午

豊栄図書館 集会室にて

- *参加申し込みは必要ありません。
- *なるべく本をお読みになって、ご参加ください。



YA



『ロボットは東大に入れるか』

新井 紀子／著，イーストプレス

「ロボットは東大に入れるか」というプロジェクトを通じて、ロボット・人工知能にできること、できないことを考えていく本です。

人工知能がチェス、将棋、そして今年の3月には囲碁でも人間に勝利しました。またその進化により、将来なくなる仕事もでてくると言われています。すでに私たちの生活に深く入り込んでいるロボット・人工知能について考えてみませんか。(小田)

『世界でいちばんやかましい音』

児童



ベンジャミン・エルキン／作，松岡 享子／訳
太田 大八／絵，こぐま社

あるやかましい都の物語。人びとは口をひらけばわめくかどなる、物音でもなんでもけたたましい。とりわけやかましい王子様は「世界でいちばんやかましい音が聞きたい。世界中の人が同時にさげんたらきっとそれがその音だ」というのです。世界中がおもしろがってさんせいしましたが「自分がさげんたら、ほかの人の声は聞こえないけどわたしもその音を聞いてみたい」と思った人がいたのです。

さて、みんながさげぶ、やくそくのじこく。おうじさまが聞いた音は…？(江守)

一般

『フェルメールの帽子』

作品から読み解くグローバル化の夜明け』

ティモシー・ブルック／著
本野 英一／訳，岩波書店



偶像的存在となり映画化もされた「真珠の耳飾りの少女」はじめ「地理学者」などが 2000 年代に入って日本にもフェルメールの作品がやって来たのは記憶に新しいところです。

この本は、絵画・美術の解説本ではありません。17 世紀オランダのデルフトという人口 25,000 人の地方都市で作品が描かれながら、その中にはグローバル化を示すアイテムが散りばめられていることが紹介されており、東インド会社など当時の交易の爆発的発展に想いが掻き立てられます。(木村)

絵本

『なかなおり』



シャーロット・ソロトウ／文，みらい なな／訳
アーノルド・ローベル／絵，童話屋

じゃあじゃあぶりの雨の日。パパからママへ、ママからジョナサンへ、ジョナサンからサリーへと不機嫌な気持ちが伝染していき、エディは犬のパジーにやつあたり。それもみんな雨のせい？でもパジーはへこたれません。じゃあじゃあぶりにも負けません。いじわるされたエディに飛びついて笑わせます。すると今度は笑顔が次々と伝染して…！最後には読んだ人を笑顔にしてくれる 1 冊です。(田辺)



YA

『えんの松原』

伊藤 遊／著 福音館書店

内裏のそばにある松原は、昼でも薄暗く、権力争いに敗れた者たちの怨霊の住処として人々に恐れられていました。まだ十一歳の東宮も、怨霊に憑りつかれていると噂されていました。

宮中の童女である音羽は、ある日不審な物音を聞き、入ってはいけない部屋に忍び込みます。この出来事をきっかけに、宮中が抱える深い闇に自ら飛び込んでいくことになります。

登場人物が生き生きと魅力的に描かれ、軽快な文章で読みやすい作品です。(中山)

一般

『顔ハメ看板ハマり道』

塩谷 朋之／著
自由国民社



観光地などでよく見かける、主に記念写真を撮影するのに使われる、穴から自分の顔を出して楽しむ看板について考察した本です。

著者が全国各地の「顔ハメ看板」で撮影した写真の数々からは、著者の表情と看板に描かれたキャラクターとの一体感を見てとることができます。他の人があまり顧みることのないテーマに光を当て、とことん熱く語る姿勢に惹かれます。読んでいて、私も何かを究めてみたい！と思った本です。(島倉)

児童

『波のそこにも』

末吉 暁子／作
佐竹 美保／絵 偕成社



はるか海深くにあるという水底の国。ある日、この国に住んでいる少女タマオが、地上から落ちてきた少年を見つけます。助けた少年は地上の国の帝だと名乗り、大事な宝剣を失くしてしまったというのです。タマオは仲間と共に帝を連れて宝剣探しの旅に出ますが、水底の国では深刻な問題が起きていて、この旅は国を救う旅でもあったのです。「平家物語」をモチーフに描かれているお話ですが、内容を知らなくても楽しめします。(山本)

絵本

『タンゲくん』

片山 健／作
福音館書店



ある日、わたしの家に、片目のとても立派な猫が上り込んできて、そのまま居ついてしまいました。「タンゲくん」と名付けられた猫は、昼間はわたしの知らないところへ行ってしまう。一体どこへ行くんだろう？ もしかして、他の女の子の家で飼われているのかしら？ 山奥で猫の一家そろってくらしているのかしら？ …少女の猫への思いがひしひしと伝わってきます。タンゲくんの強烈な存在感も魅力です。

(藤田)

編集・発行 : 新潟市立豊栄図書館

〒950-3323 新潟市北区東栄町 1-1-35 TEL:025-387-1123 FAX:025-384-6600

新潟市立松浜図書館

〒950-3126 新潟市北区松浜 1-7-1 TEL:025-387-1771 FAX:025-259-7331

発行日 : 2016年8月

ホームページ : <http://www.niigatacitylib.jp/>